

平成 30 年 3 月 17 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム 平成 30 年度 第 3 回

今日の論語の素読は、氣合が入っていて結構でした。孔子とお弟子さんがやりとりをしている雰囲気は何となく伝わってきました。小島幹事は何か氣合が入るようなことをして来られたのでしょうか。非常に良いリズムだなと思って聞いていました。自分に氣合が入るような、自分自身に喝を入れるような生活リズムを作るとよろしいですね。

今朝の朝稽古は山崎先生が指導をして下さいましたが、流石に山崎先生は下半身がピタッと決まっていて、見るからに格好が良かった。生活のリズムの中で、ここぞという時に自分の思い通りにピシッと決められると、後はずっと氣分良くいられます。朝方そう出来るとよろしいですね。夜寝る時も、今日一日良かったなあとけじめをつけることも必要だと思います。また、一生の間でも、ここぞという時自分なりに区切り・けじめをつけるようなチャンスがあれば、是非活かすとよいでしょう。

辞は達するのみ —— 相手に自分の意志を伝える方法

皆さんからの要望がありましたので、論語の解説から時事評論に入ります。本日の論語は衛霊公篇 40・41 です。

【四〇】子^し曰^{いわ}く、辞^じは達^{たつ}するのみ。

「達するのみ」の部分は「達して已む」と読み換えてもよろしいでしょう。解説本も色々ありますから、自分にあつたものをお読み下さい。

「辞」とは言葉です。これを外交と考えて下さい。

孔子が言うには、外交の要諦は相手に自分の意志をきちんと分からせることだ。

外交の要諦を詰めると、人と人との付き合い、国と国との付き合い、自治体の中での付き合い、組織の中での付き合い、家庭の中での付き合い……等々、色々なとらえ方ができますが、どう付き合うかについては辞（ことば）が大事だということです。

これを今朝の新聞から考えましょう。

今朝（3/17）の日経新聞から、「**黒田総裁再任を承認**」が目につきました。1面の真ん中の目立つ部分に持って来ていますから、日経はこれを出したいのだなと思いました。「国会は16日の衆参両院の本会議で、4月8日に任期満了となる黒田総裁を再任する人事案を可決、承認した」とあります。やはり日経は経済を重要視していると感じました。一方、読売新聞は同じ記事を2面の小さい記事で「黒田日銀 新体制へ」と掲載していますから、経済をあまり気にしていないのだと見えます。

また、日経新聞では「国会で承認、可決された」とありましたが、読売は「衆参両院の本会議で、自民、公明両党などの賛成多数で可決された」と、自民・公明両党が賛成をしたので可決されたという書き方です。しかも野党については全く触れていません。日経は、「黒田総裁の再任案には自民、公明両党が賛成した。立憲民主党、希望の党、民進党などの野党は反対した」とあります。これを見ると、日経新聞の方が伝えるべきものは大体書いている。読売新聞は偏向していると見えます。

その新聞の寄って立つ所は何か、どうしても私はそれが気になって見てしまいます。「辞は達するのみ」で考えると、意味が通じればよいわけです。日経は黒田総裁再任だけ伝えればよいという書き方です。読売は叩かれるのが嫌だから1面には書かないで2面で書いているから、それほど重きを置いていないということが見えます。

「辞は達するのみ」で、自分の意志を相手に伝える・知らせる方法について見てみましょう。

プーチン大統領はどうでしょうか。

図らずも今朝の読売新聞に「**元スパイ暗殺未遂 選挙に影**」という記事があります。「プーチン政権下では、政敵や寝返った元スパイが不審な死を遂げた例が少なくない。プーチン黒幕説が囁かれるのは、プーチン氏が裏切り者はろくな死に方をしないなどと、反逆者に対する激しい怒りをたびたびぶつけてきたからだ」と書いてあります。つまり、プーチン大統領は脅しを使うわけです。しかも相手の生命を狙うような脅しです。先日もロシアの元スパイがイギリスで殺されかかって、両国が険悪になっていますね。

一方、同じ紙面に「**クリミア併合 成果誇示**」という記事があります。「今回の大統領選で投票率70%を達成したいプーチンさんが、クリミアを奪還した成果をアピールして躍起になっている」とあります。

これらの記事から、プーチンさんは敵に対しては殺すと脅し、見方に対しては、私に就いて来れば良い事があると暗黙に宣伝をしていると読みとりました。

同じく今朝の読売新聞の「**在韓米軍削減 タブー視せず**」の記事。「トランプ大統領は、在韓米軍が米国の負担との認識をにじませており、5月までに開かれる見通しの米朝首脳会談に向け、在韓米軍を巡る議論に注目が集まりそうだ」とあります。

この記事には海谷道隆という記者の名前が書かれていますが、自分の名前を出して、よくも適当な書き方をするものだと思います。「姿勢を示している」「認識をにじませており」「注目があつまりそうだ」・・・と、私には関係がないと言わんばかり、何か叩かれてもするっと逃げられるような文章です。人の判断に、きちんとした事実関係を提供しなければならない新聞がこういう書き方をするのは間違いだと思っています。

「辞」（ことば）は相手の意志をきちんと相手に伝える方法ですが、こういう書き方ではきちんと伝わりません。翻って、自分の意志を伝える時には、きちんと相手に伝わるような言葉を選ぶべきだと私は考えます。

習近平さんの場合はどうでしょうか。

「**習氏礼賛映画 大ヒット**」・・・「全人代にあわせて習近平政権1期目の5年の成果を宣伝するドキュメンタリー映画『すごいぞ我が国』が全国の映画館で公開されている」とあります。習近平さんは初めは処女の如く出て来ましたが、今や、大狸のしっぽが完全に前に出てきてしまいました。この映画は、習氏が如何に素晴らしいかという宣伝です。「チケットの売り上げは32億円を突破して、中国のドキュメンタリー映画の興行記録を更新した」とある後ろに、「記録の影には数多くの動員がかけられている実態があるようだ」とあります。中国ですから、「ある」と書けば自分の首が危ないから、こう書くのも容認できます。

ということで、習近平さんも宣伝もするし、恐怖政治を敷いて脅しもしています。完全に言論統制をしているから新聞には出ませんが、水面下で前政権の影響力がある軍人を相当な人数抹殺しているようです。それは本当に抹殺する場合と、失脚させる場合と二通りだと思います。

習近平さんは今、一帯一路を進めて自分の皇帝化を図っているから、諸外国に対して脅しと金のばら撒きをしています。台湾を、まさに<脅し>と<金>で押し潰そうとしています。習近平さんは何度か命を狙われていますから、おそらく台湾を完全に自分の思い通りにする事が出来れば、自分を抹殺しようとする長老グループも黙るだろうという見通しがあるのでしょうか。

そういうことを考えながら読んでいくと、脅しに関して、目に見えない所で手を打つという点で、プーチンさんやトランプさんと比べると、今のところ習近平さんが一番上手ですね。

文明の流れで見ると、今は、西洋文明が衰退して東洋文明に移行する大きな時代の始まりです。没落していく文明圏とこれから発展していく文明圏とのせめぎ合いです。東洋文明がこれからどんどん発展していく中での、あだ花に位置するのが中国です。あだ花を咲かせた後は、何百年ももつような体制ではありませんから、せいぜい百年持つか持たぬかという所で今の中国の勢力は陰っていくと思います。そういう流れで見ても、習近平という人物があだ花を咲かせる推進力になっていることは間違いないと私は感じます。

安倍さんはどうでしょうか。

「森友書き換え 首相答弁の影響 否定せず」・・・太田理財局長の国会答弁について書いてあります。嘘ばかりついていますが、国民は馬鹿ではありません。

安倍さんが持っている自分の意志を伝える能力とは何でしょうか。プーチン流に暗殺グループを組織して、言うことを聞かなければ殺すぞ！ などとは出来ませんね。トランプ流に口で攻撃をして、自分の思い通りにならなければクビだ！ と、これも安倍さんは出来ません。安倍さんは何も持っていません。そもそも歴代の総理大臣も持っていないのです。というのは、西洋型の人事権限は日本の国是に合わないのでしょう。

では、安倍さんに何が出来るのかというと、もぞもぞしているだけです。ほとんど日本の総理大臣は力がありません。せいぜい出来るのは官僚の首を切ることと、大臣その他の首相が握っている人事の任免権・罷免権くらいでしょう。

特に最近、首相官邸が官僚の上の方の人たちの人事権を握って、官僚が余計に官邸に目を向けなければならぬ仕組みにしてみました。それが今は功を奏しているわけです。その結果、日本民族の劣化を招いた、具体的には官僚の能力の劣化を招きました。ですから官僚にきちんとした文書が出来るわけがない。ミスだらけになって当たり前、ミスをしたら誤魔化そうとするのも当たり前です。自分たちの人事権を握っている人が、「もし私が関与していたなら、総理大臣も辞めるし国会議員を辞める」などと言うから、野党はそれで勢いづいて責め立てるし、官僚は自分たちにとぼちりが来ないように改ざんをする。その役目になった人はお気の毒、ということになりますね。

権限を持っている人がその力を上手に使わないと、周りにとんでもない迷惑がかかります。人によっては自殺者まで出てしまうのですから、非常に怖いのです。ですから人事権を握った人間はよほど肚を練らなければいけない、と私は思います。

「辞は達するのみ」で、言葉だけでなくで行動で示す場合、それを誇示するようになると怖いですね。習近平さんは人を抹殺したということは隠します。プーチンさんも隠します。ところが北朝鮮は誇示します。テロ集団も同じで、残忍な処刑を見せて恐怖をまき散らすわけです。

しかし振り返れば日本も戦後時代は、討ち取った首を首実検したりしていました。世界の歴史を見ても、様々な残虐な記録が残っています。ですから人間は結構残虐です。

ということで、言葉だけで足りないと思ったら行動に移すという人類の歴史があります。それを水面下でやる人間と、誇示して恐怖心をあおる人間がいる。孔子がどこまで考えて言っているか分かりませんが、ここは「辞は達するのみ」と読むよりは、「辞（ことば）は達して已む」と読んだ方が、理解が進むだろうと思います。

「辞は達するのみ」・・・自分の想いを相手に伝える方法について、恐怖の方の話ばかりを致しましたが、愛でソフトに包んでいくという方法も良いわけで、天風先生の本をご紹介します。『君に成功を贈る』と『いつまでも若々しく生きる』（日本経営合理化協会出版局）です。これは愛で包む方ですから、こちらをお勧めします。

本の中でポイントになっているのは、＜自然の法則を無視しては、人は生きられない＞という教えです。当たり前のことですが、よくよく考えると大変なことだと思います。自然の法則とは、人間が抗いようのない法則です。その法則を頭の中にしっかり置いた上で、天風先生は「人は秩序を重んじながら、訓練的に生活を積極化せよ」と言っておられます。積極＝前向きです。何かあった時に後ろ向きで考えるのではなく、すべて前向きに生きていくということです。

他にも天風先生は、幸福な人生を生きるために「他人に好かれる人間にならなければいけない」と言っておられます。私が好きだと思っても、相手から嫌だと思われる場合があります。＜好かれるためにはどうしたら良いか＞と考えないで、自然と好かれるのがよいですね。それが出来たら素晴らしいと思います。

ちなみに、『君に成功を贈る』の前書きに、「足るを知る者は幸福なり」とありました。天風会理事長の合田周平さんが書いておられるのですが、「知足」と陽明学にも触れておられ、非常に良いなと思いました。

【四一】^{しべん まみ かい およ しいわ かい せき およ しいわ せき みな}師冕見ゆ。階に及ぶ。子曰く、階なりと。席に及ぶ。子曰く、席なりと。皆^{ざ し これ つ いわ ぼう ここ あ ぼう ここ あ しべん い しちよう と いわ}座す。子之に告げて曰く、某斯に在り、某斯に在りと。師冕出づ。子張問いて曰く、^{し い みち しいわ しか もと し たす みち}師と言うの道かと。子曰く、然り、固より師を相くるの道なりと。

盲の楽師の冕が孔子に面会した。孔子が冕を案内して階段に来ると「ここは階段です」と言い、座席に来ると「ここが席です。皆さんは座っています」と伝えた。そして「誰はここにおります。誰はここにおります」と説明した。

冕が退出した後、子張が孔子に「そこまで丁寧に案内することが作法なのですか」と尋ねた。孔子が「もとよりこれが盲の楽師を先導する礼の道（作法）なのだ」と答えた。

ここは解釈が色々あります。孔子はかつて盲の法師に音楽を教わったので、尊敬の気持ちで丁寧にしているという説があります。逆の見方で、目の見えない人に私はここまで先導しているというポーズでやっているという解釈もあります。

論語は色々な視点から解釈が出来ます。一つ解釈が出来ると、また別の解釈、更に次の解釈と広がります。物事は複眼的に見るが良いと思います。

時事評論

時事評論の続きを少し申し上げます。先ほど今井副理事長から、森友問題・安倍さんの進退はどうか、米朝会談の行方はどうか、等々を話に入れて欲しいと要望がありましたのでお話致します。

森友問題については、いつまでこんなくだらなことで時間を潰しているのかと思っています。国会は国会の仕事をきちんとすべきです。先程、日本民族が劣化した、官僚が劣化したと申しました。昔から政治家は二枚舌と言いますが、官僚は2枚どころではありません。ですから公文書の改ざんなど当たり前、忖度も当たり前です。森友問題は「疑惑あり」ではなく、断定してしまえばよい。そしてこのくだらない問題はさっさと終わりにして、やるべきことをやれ！と思います。問題は、森友問題を決着させるだけの能力が政治家にもない、官僚にもない、メディアにもないことです。ですからぐずぐずとやっているのです。

安倍首相の進退については、これも日本人の劣化です。自分の出处進退は自分で決める、そのためには哲学が要ります。

ひと頃までの日本のリーダーや、それなりの地位にある人は、哲学が肚に修まっている人物が多かったと思います。もし、頭を病んだような場合は出处進退を自分で決められませんか、周りが引導を渡せばよいのです。そういう人間が結構いたわけです。

翻って、日頃から自分の周りで、出处進退を決めなければいけない時期に来ているぞと素直にアドバイスしてくれる人間を作っておく必要があります。

安倍さんはそこらへんをもう失敗をできてしまっていると思います。自分の出处進退を決められないところに来てしまった。完全に視野が狭くなっているように見えますので、メディアが、官僚が、或いは与野党が自分に対して歯を剥いてきたと感じるのであれば、哀れな末路を辿ることになります。すつと辞めればよいのです。

米朝会談の行方については、子供がおもちゃ欲しさに駄々をこねて母親を困らせているようなもので、始末に負えません。それぞれの国のトップが、お互いゴネ得をしようとしているだけの話です。このへんで手を打とうと思う度量が双方があればよいのですが、それはありませんから、行き着く所は力と力のぶつかり合いでしょう。何かの間違いでミサイルが落ちれば、戦争が始まる危険性はとても高いと思っています。

北大の教授をされた木村汎という先生がおられます。日本青年会議所時代に北方領土問題委員会で御一緒した縁が30年近く続いており、先日、木村先生が産経新聞の正論大賞を受賞された祝賀会に出席させて戴きました。その席で木村先生が、「歴代のアメリカ大統領は必ずロシアのトップに会いたがる。自分が行けばロシアは言うことを聞くといい込んで常に仕掛けをするけれども、成功したためしがない」と言っておられました。つまり、共産主義政権下にあるトップはしたたかで、アメリカの大統領を手玉に取り続けているということです。トランプさんはまさにその弊に陥っていて、「乃公（だいこう）出でずんば」で、自分が差しで会えば北朝鮮は言うことを聞くと信じ込んでいるところが怖い。差しでやって勝つはずがありません。北朝鮮は本当に人を殺していますから、あれだけ残虐さが違くと頭の回転が違います。ゴネ得をするのは北朝鮮でしょう。

韓国は水面下で話が進んでいて、めでたく韓国民族は統一する寸前にきているわけでしょう。上に行くのが北朝鮮、組み込まれるのが韓国という構図で、肩書きもほぼ煮詰まっているようですから、そういう水面下の交渉を踏まえて米朝会談をするわけです。ですから北朝鮮が勝つに決まっているのではないかと見えます。ただ、これは表面に見える話と水面下の話はかなり違います。メディアで流れている情報は、表面にあるものと水面下で流れているものとをよく見極めなければいけません。

もう一つ時事評論で触れておきたいのが、「放送 信頼失う恐れ — 事業見直し 首相方針」 「NHK肥大化懸念」 (3/17 読売新聞) という記事です。放送事業の見直し方針について色々書いてありますが、これは放送の信頼を失う話ですから恐いことだと感じました。メディアのあり方を根っこから変えたいというわけですが、何の事はない、安倍さんが自分の思い通りにメディアを動かしたいということの表れだと感じます。トランプさんが「フェイクニュース！」と言うのと同じです。

今のままでは良いとは思いませんが、放送法が変わると嘘のニュースもごく普通に流れるし、本当の話も流れますから、余計に受け取る人の判断基準が問われることになると感じます。

恒例の質問

明日は私の誕生日で、3月はとても良い月だと思っております。皆さんはどうでしょうか。では、お聞きします。

○ 3月に入って、良い日が続いている方

良い事があったなら、そのことだけを心に留めておくことです。良い事と悪い事を天秤に掛けないで、悪い事はすぐに忘れることです。夫婦であれば、喧嘩をして腹が立ったことも沢山あるはずなのに、相手が亡くなってみるとなぜか良いことしか思い出さないようです。人間はそういうふうにならされているみたいです。

○ 3月に入って、嘘はほとんどついていない方

チョロっと舌を出すくらいは許容範囲です。

○ 3月に入って、有難うと言われることが結構あった方

有難うと言われることは、とても良いことです。自分の心の中にとっても良いものを生みますから、手の挙がらなかった方は有難うと言われる機会をとにかく増やしましょう。

○ 3月に入って、ずっと健康法を実践している方

腹式呼吸も健康法の一つです。お腹を押さえて口からハーっと思いきり息を吐く。すると自然と鼻から空気が入ります。呼吸を意識するだけで健康法になります。

○ 昨晚寝る時に、今日一日良かったなと思って寝た方

これが出来た方は次のステップとして、明日も良かったなと思って寝るよう強制的に頭に義務付けるのです。そうすると少しずつ運が良くなるようです。

○ 3月に入って、自分磨きをよくやっている方

かなり手が挙がりました。結構なことです。自分磨きを、より鮮明にするとよろしいでしょう。

足るを知る

中斎塾フォーラムの基本哲学は「足るを知る」です。「ほどほど」と置き換えてもよろしいでしょう。日頃から、「足るを知るとは何だろう？」と思う癖をつけると良いと思います。困ったことがあったり何か欲しいと思った時、ほどほどで止めておくことです。ほどほどで止めないから戦争になるのです。

師（人）

本日のテーマは「師匠」です。師匠は探し求めていけば、自然に出会えます。但し、心の底から求めていないと、会った時に無意識のうちに動くことが出来ません。

フォーラムの講話で時々、「カ・キ・ク・ケ・コ」についてお話しています。

カ・・・最近、感動したことはありますか？ 素晴らしいものに出会った、素晴らしい体験をした方？

何人か手が挙がりました。感動する心を常に持っている、ほんのちょっとしたことにも感動します。

キ・・・興味を持っているものはありますか？

ク・・・今、工夫しているものがありますか？

ケ・・・健康については、先程の質問で致しました。

コ・・・恋心を大事にしている方？

今の質問を踏まえて、皆さんは最近、驚いたことはありますか？

先日、シムックスの役員達（皆 30 代・40 代です）に、最近驚いた事はあるかと聞きました。一人の役員が手を挙げました。たまたま原宿でやっていたイベントを覗いた時のこと、イベントを見に来た人達が情報を SNS で拡散させていたのを見て驚いたというのです。お金をかけて宣伝をするのではなく、会場に来た人達に宣伝をして貰うというやり方に主催者の考え方が切り替わっている。マーケティングが変わったなと感じたそうです。

常にみずみずしい感受性を持ち、常にアンテナを張っていると、何かを見たり聞いたりした時に受け止め方が変わって来ます。夜寝る時、いつもの質問と一緒に「最近、何かに驚いたかな？」と考えてみて下さい。もし、驚いていないな・・・と思ったなら、だんだんあの世に近づいているかもしれません。今月は驚いて目が覚めるような思いをした経験がなかったなら、来月は作ろうと思って下さい。是非、みずみずしい驚きをお持ちになるようにしましょう。

ちなみに今、会いたいと思う人はいますか？ 是非、会いたい！ 是非、行きたい！ あれが食べたい！ 等々、〇〇したいと常に思っている人ほど、みずみずしい感受性があるようです。

お時間になりました。有難うございました。